

健康と光線

発行所

〒153
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行

会費 年500円

電話 東京(03)

793-5281

712-5322

はじめに

耳鼻科領域には、慢性の経過をとり、長期間に亘り患者を苦しめる様々な疾患があります。そして、これらの慢性疾患を持つ患者の中には、対症療法で一時的に症状を改善しても早晚再発することを知ってしまつて、治療するのを諦めている人さえ見受けられます。

でも、諦める前に、サナモア光線療法の効果を試して下さい。その参考に、光線療法の特異的な効果について、まず基本照射の意義を説明し、次に症状別に重要な疾患をあげ、文献を交えて記述します。

基本照射の効果

耳鼻科疾患に限りませんが、慢性疾患の治療にサナモアを使用する際、罹患部の局所照射は不可欠ですが、同時に復、腰、膝、足裏に各5〜10分照射する基本照射を行うことは極めて大切で、軽んじることはできません。この点について、日光療法に結核性疾患に対する効果を記した文献から例示します。

抗結核薬が開発されるまで、

結核は猛威をふるい、必然的に耳鼻科領域の合併症も多発しました。一方、19世紀から20世紀初頭にかけて、日光療法は主に結核の治療に用いられていました。その頃の文献には、結核性中耳炎で多量の膿を排出していた患者や、喉頭結核で喉に痛みを訴えていた患者が、数ヶ月から一年の日光療法によって耳だれや喉の痛みがなくなつたことが記載されています。

耳鼻科領域に於ける光線療法

特に慢性疾患に対する治療効果

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

光明

讚光譜参照)

また、光線には他にも治療上有益な多様な間接作用があります。すなわち、基本照射と患部への照射を併せて行うのが、効果的に使う要点なのです。

□耳だれ(耳漏)

断続的にしる長い間耳だれがあれば、慢性中耳炎でしょう。この病気は些細なことで急に悪くなり、膿性の耳だれが増え、

中耳、内耳および中枢性(聴神経系)と様々です。前述の慢性中耳炎で耳が遠くなるのは、鼓膜が破れ、内耳に炎症を起こすためですが、ツェーマツハ氏は、光線療法で聴力を6〜8倍に改善し得ると報告しています。

中耳性の難聴を起す慢性疾患には、中耳に滲出液がたまる滲出性中耳炎、中耳の圧が低くなる耳管狭窄などもあります。原因の分らない内耳性難聴に、突発性難聴があります。突然発病し、時に全く聞こえなくなることもある難聴ですが、内耳の血液やリンパ液の循環を促す治療で効果を認める場合のあることが指摘されています。自験例に聴力が改善した例があり、その中で試して見る価値はあります。

光線療法は、耳、鼻、喉に各10〜15分照射します。

□めまい(眩暈)

(眩暈)

発作的にぐるぐる回る回転性のめまいをくり返し、吐きけ、嘔吐、耳鳴り、難聴を伴うのがメニエール病で、内耳のリンパ液の量が急に増える内リンパ水腫が病因として有力視されています。

従つて、本症治療の光線療法は、AB又はADを使い、発作時には両耳30分、後頭部10分照射し、落ち着いて各10〜15分照射します。このように光線を平生使用すれば、発作を予防するの役に立ちます。

□鼻じる鼻つまり(鼻漏、鼻閉)

こんな症状が続くようなら、慢性鼻炎や慢性副鼻腔炎(蓄膿症)の如き慢性疾患が、季節の変わりめなどに繰り返すなら、アレルギー性鼻炎が考えられます。

中でも、副鼻腔炎は日本人に多く、鼻汁が喉に落ちる(後鼻漏と言ふ)ため、慢性気管支炎を起したり、絶えず有害な炎症性物質を出し続け、患部以外の臓器の病気を、例えば腎炎を起したりします。(病巣感染と言ふ)また、近年アレルギー性鼻炎も激増しました。

この際の光線療法は、AB又はADで鼻部10〜20分、後頭部10分照射します。なお、これらの疾患は体質的な要因であり、その根元よく続けると共に、鼻をかみ、鼻腔内を清潔にしておく必要があります。

□発熱を伴う喉の痛み

年に何回も起きるようなら、慢性扁桃炎です。この病気は菌が扁桃組織内に住みついて除去できないため、弱り目に祟り目の言葉通りに発病します。その上、病巣感染として腎炎やリウマチを起こします。

光線療法は、A又はABで、喉に外部から10〜15分、ガラス管を使って口腔内から10分と言ふ様に、内外から照射すると一層効果的で、扁桃炎を起こさなくなり、デンマン氏は、慢性の咽喉疾患に対する光線療法の効果は推賞に価すると述べています。

「松林」

宇都宮義真撮影



讃光譜



我々の身体は、元来相当強大なる殺菌作用を備えていますので、多少の細菌が侵入しても、健康体なら感染しません。感染発病は、各人自身の身体に、細菌を殺す力が弱いのが一般の原因です。故に、ある人は十万の細菌がついても発病しないのに、ある人は一万の細菌で病気になることがあります。

この人体の殺菌作用に及ぼす光線の影響について考察します。

戦場で、大きな負傷をしても簡単に治る人と、一寸した傷でも化膿してなかなか治らない人があります。

欧州大戦の際、ドイツ側は衛生材料や患者収容家屋の不足のため、遂には傷病兵を至る所で屋外に放置するの已むなき有様となったのですが、皮肉にもこれが却って好結果となり、薬で消毒し繃帯をした者より、傷口を天日に暴露したままの人の回復が早かったのです。

これより以前、看護婦の母として知られるフローレンス・ナ

イチンゲールが、クルミヤ戦争に参加して、戦傷病兵を屋外に移して治療し好成績をあげたのは有名な話です。

ナイチンゲールは、英国に帰ってから、病院の設計が光線や空気のことを少しも考慮に入

人体の殺菌作用に 及ぼす光線の影響

宇都宮 義真

れていないことに反対し、病舎の日当りをよくするように主張し、ロンドンのネトレー病院の施設を改善させました。

東大教授の石原 忍博士は、

「一、二等患者は、官費患者の場合に比し、化膿や後出血を頻々として起こし、其の手術成績がよくないことが多い」と述べていますが、之などは常に屋外生活をしている労働者の方が、屋内で十分栄養をとってゼイタクな生活をしている者より、抗菌力は却って強大であることを物語るよい例であります。

特別の病気、例えば糖尿病のある様な場合には、其の人の殺菌力は非常に弱くなり、結核を始め感染症にかかりやすく、かつ重病になりやすいのでありますが、斯様な場合にも光線療法は最も適当な予防手段として応用できるのであります。

また、糖尿病患者では、手術をしても永いこと傷口がふさがらなかつたりしますが、光線は手術後の肉芽の発生を良好ならしめて回復を著しく早くします。

この光線の効果は、主に光線が人体の殺菌作用を強くする、間接的な作用に負っています。一体に、感染症の治療に光線

を応用する場合には、紫外線が直接細菌に作用して殺菌すると考え勝ちですが、皮膚面など表在性の感染を除くと、紫外線は浸透力の関係から、身体の内側の深在性の病巣には達しないのです。

即ち、コールブルック氏、ヒル氏、エイジノー氏等の研究によれば、皮膚に光線を照射しますと、血液の殺菌力は非常に増加し、兎に於ては六五%、人体に於ては一七%増加すると報告されています。

兎に角、身体に光線を照射しますと殺菌作用が増加しますから、化膿性体質の改善になり、感染症の治療のみならず予防にも有効なのであります。

「光と熱」

昭和14年5月1日発行

—戦傷病兵と光線療法—

「光と熱」

昭和14年12月1日発行

—人体の殺菌作用と光線—

より要約した。

近年、アメリカの国立精神衛生研究所のレーウィ博士らは、光線が人間の情緒にも大きな影響を与えることを明らかにしました。

レーウィ博士らは一連の研究の中で、うつ病の治療に太陽光線に似せた光線を可成り強く照射したら、四日間であつ病が治り、それ以後も照射を続けることによって順調に推移した症例を報告しています。

今回の前田先生の治験例は、レーウィ博士らが経験した症例に酷似しており、うつ病の治療に曙光を与える貴重な御報告ですので、特にお願ひして、前田先生宛の礼状を合わせて掲載します。

治験例報告

うつ病

春日市 前田光線治療所

前田 ミサ

症例 51歳 女性

症状 起始および経過については、体験記に詳しく記されている通りです。

今回、サナモア光線療法を始めたのは、患者の姉から「妹が、あまりにもやつれて、哀れで見られませんか。今、本人の我儘を通して、ひょっとして悪いことにでもなったら、家族が可哀想だから、よくよく話して無理にでもサナモアをかけさせたいので、症状に合った照射法を指導してほしい」と相談されたのが切っ掛けです。

症状を聞くと、寝てばかりで何をするのも苦痛で、毎日「死

にたい死にたい」と口癖のように言い、また、食欲もなく、不眠、頭重感を訴え、薬害を恐れながら苦しまぎれに薬を飲むと言うような状態を繰り返していた。

うつ病体験記

サナモアの効きめにびっくり

長崎県南松浦郡

有川町七目四五三

石田 カズ子

思い起こせば数十年前、生きていても何の楽しみもない日々を過ごしていました。あちこちの病院に行き、何ヶ月もしてから、うつ病と診断されました。私の町に文化センターができて、そこに大学から悩み事相談の先

ることでした。

療法経過

まず、食事指導をした上で、次の如く照射するように指示しました。

- (1) Aカーボンを使用。
- (2) 最初の二、三日は、足裏足首、膝に朝夕二回、気持の良い間照射。
- (3) 三、四日目から、腰、背、肩胛部、後頭部、腹、喉頭部(甲状腺)を追加し同様に照射。
- (4) 照射中や照射後に、のどが渇き水分を欲する時は、手製の野菜ジュースか葉草茶を飲むこと。
- (5) 変化があれば直ぐ連絡する

ること。

治療を始めて四日目の夜、患者の姉より喜びの電話がありました。

「今朝は、自分で起きてきて、炊事や掃除をしたり、買物や母の家に出かけたり、別人の感じですよ。とても楽しそうに笑いがからお喋りします。とにかく、サナモアを三、四日かけただけなのに、あんなに苦しんで悩んだ症状がなくなり、当人もほんとに治ったのかしらと首をかしげてます。周囲の者は本当にほっとしました。ありがとうございました。」

福岡県春日市桜ヶ丘八丁目三
TEL092・五八一二〇三九

昭和59年4月29日、バレエボールの試合中に右足のアキレス腱を切り、60数日入院しました。これが引き金になってか、うつ病が悪くなり、近くにできた精神科に通院するはめになりました。

私は、この病気になるたびに、この世を去りたい気持ちが強くなり、家族のことを思っで懸命に耐えました。今度は、何種類もの薬を飲まされましたが、2ヶ月位で落着きました。次は、60年8月、義父が亡くなったのが切っ掛けで始まりましたが、約3ヶ月で治りました。

3度目は61年4月の末でした。

今回は薬にたよらず、他の方法でと考えて信仰にすがりましたが、ますますひどくなり、昼夜いつも寝てばかりの生活が3ヶ月程続き、気分は全く滅入って死にたい気持ちをおさえながら過ごしていました。

そんな時に姉がサナモアを抱えてやってきました。これで、やきつくせ」と言うのです。でも何年か前に、おなかにかけて蕁麻疹ができたことがあったため、姉の勧めに素直に従えない所がありました。ドローにかしたい一身体、一所懸命かけました。また、かけた所がひどくかゆくなり、かきむしりましたが、みるみるうちにきれいになり、2日目には食欲が出て、生きがいがでてきました。

「あ、生きてて良かった」今ではとても楽しく暮らしています。

私にサナモアを一所懸命勧めてくれた姉に感謝すると共に、サナモアの効きめに本当にびっくりしました。

先日、姉とお会いした前田先生には、感謝の気持ちでいっぱい。先生、どうか私のような病人がいたら、どんどん助けて下さい。

(応用光線療法学は休載します)

☆火傷

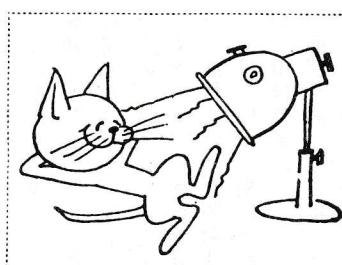
症例 50歳 女性

症状 クリーニング店の主婦が、仕事で糊を煮ている最中に誤って沸騰した糊を右腕にかけ火傷した。

患者から電話があったので直ぐ行ったが、飛び散った糊が患部にべっとり付いていた。

療法経過 直ちにBカーボンを使って、最もひどいところを開放で1時間照射してから散在している何ヶ所もの患部へ、各30分(一号集光器)照射した。その上で、軟膏をガーゼにのばし、患部に当てて包帯した。なお、私が帰った後にも、患者は夜半まで寝ずに繰り返し照射したと言った。

翌日の所見を写真(上)に示したが、水ぶくれ(水泡)になり、腫れ上っていたので、消毒した針を刺して水を取り除いてから、Bカーボンで前日と同じように時間を長めに照射し、今後とも同様に治療を続けるように指示した。



—治療例報告—



本例は全経過十日間で、写真(下)に示したように跡形もなく治癒した。

(患者はサナモアの愛用者で、サナモアの効力を信じ、サナモアだけで治しました。

店に来るお客も、医者にかからずに、余りにも早く完全に治ったことに驚き、サナモアが評判になりました。)

☆頭蓋底骨折

(交通事故による)

症例 46歳 女性

症状 5月30日に交通事故に

愛用者だより

☆乳ガン

静岡県 村山 昭夫

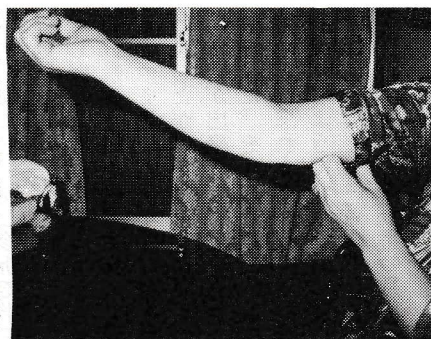
家内が乳ガンで手術をし、経過は順調にいったのですが、退院後、薬の副作用で肝臓を非常に悪くしてしまいました。そんな時、知人からサナモアのことを聞き、早速購入して使用しております。使用しだしてから日が浅いのですが、日に日に顔色が良くなり、食

欲も大分出てまいりました。一時はどうなることかと心配したのですが、これなら大丈夫という確信を持てるようになりました。その他、老母の神経痛や子どもの筋肉痛など、サナモア一台で家族中の者が喜んで使

☆骨折

愛知県 杉村 孝子

一年前に足を骨折してしまいました。接骨院に半年以上も通院し



遭い、明石の病院に緊急入院する。入院時、頭蓋内出血のため意識不明で、レントゲン検査の結果、頭蓋底骨折と診断された。なお、面会謝絶、絶対安静の状態であったが、医師に頼み翌日やっとサナモア治療器を病室に持ち込むことに許可が出た。

療法経過 早速、ABカーボンを組み合せて足裏に10分照射

したら、容易に入らなかつた点滴が少しづつ入るようになり、顔色も良くなり、看護婦が見て驚いていた。三日目に意識を回復し、家族も安堵する。

腹、膝、足裏、大脳、小脳に各5分照射、十日目には吐きなくなり、脳圧亢進症状がとれてきた。また、顔面の腫れも引いた。

二十日目頃にはやっと利尿が付き、多量の尿が出てから日に日に元氣を取り戻し、手のしびれ感も軽くなり、僅かながらも身体を動かすことが出来るようになった。

その後の経過は順調に推移し、退院前に受けた全般的な検査の結果は、運動機能、知覚、視力、言語、記憶力、指南力すべて正常で、麻痺などの後遺症は認めなかった。

八月六日に退院した。(一時は生死の境をさまよい、

たのですが思う様にいかず、苦労しました。そんなおり、近所の方の紹介でサナモアを購入、毎日使用しました所、一カ月で痛みがとれ、足も大分軽くなってきました。

その後、足、腹、腰などにも使用しています。年をとっていきなると健康な余生を送りたいと願っております。その点、サナモアが一番良いと思っています。

本当にありがとうございます。

☆尋麻疹

症例 46歳 女性

症状 サバの刺身を食べた後に、赤く平らに盛り上がった皮膚発疹が全身に出た。とても痒く、微熱あり、擦ると「みみずばれ」になる。

療法経過 二台の治療器を使う二灯照射法で、カーボンはBDを組み合せて治療した。

最初は横臥位にして、二台の治療器で腰部と顔面に同時に各10分、場所を足裏と腹部に変えて各15分、次は一台で背部に5分照射した。次いで仰臥位にして、一台で左横腹に15分照射し

ている間に、一台で右肩5分、右膝に10分照射してから、反対に右横腹に15分照射している間に、左肩5分、左膝に10分照射して治療を終了した。

この初回治療によって、発疹および自覚症は可成り改善し、三回の治療で完治し、大変に喜ばれた。

川崎市 東京光線治療院

海渡二三氏報告

TEL 〇四四一七二二一五〇六七

そして医師より植物人間になる恐れもあると言われたのを助けてもらい、奇跡的に何んの障害も残さず帰れたのは、サナモアの力もあったと感謝しています。

神戸市 ウエノ光線療法 上野 貞氏報告

TEL 〇七八一三三二一三五八

腎臓の働き

腎臓は腹部の上後方にあるソラ豆のような形をした臓器で左右一対あり、体内の水や電解質（ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、リンなど）を調節し、体液のpH（酸・アルカリ）を弱アルカリ性に保つようにすると共に、代謝産物（尿素、クレアチニン、尿酸など）や有害物質を体外に排泄するために尿をつくり出します。また、腎臓は造血に必要な因子や血圧を調節する物質を産生し、ビタミンDを活性型にする作用もあります。

腎臓疾患の治療に際して

治療に際して

腎臓は極めて重要な臓器ですから、常に細心の注意を怠らずに治療しなければなりません。この際、腎臓疾患全般に共通の治療上の通則を知っておくことは有用です。

腎臓疾患治療の基本は、**安静**や**食事療法**の必要性を理解し守ることによって、腎臓への負担を出来るだけ軽くし、腎臓を不必要に刺激しないようにすることです。

まず、安静の治療上の意義について説明します。腎臓病では、通常運動を制限し、病状に応じて安静度を決めます。中でも、急性期や増悪期には、床に横たわって絶対安静を保つよう指示することもあります。これは、特に臥床安静により、腹腔内臓器を循環する血流量が増し腎血

流量も増えるため、腎臓が尿をつくりやすくなるからです。

腎臓病の食事

療法を要諦も、腎臓の仕事量を減らし、腎臓を休ませる点にあります。このため、一般的には食塩やタンパク質を制限します。

このうち食塩制限は、摂取した食塩を尿で体外に排泄して体内の食塩量を一定に保つように調節している腎臓の負担を軽くするためです。また、タンパク質は、腎機能低下がある場合に厳しく制限されますが、その訳は、腎臓がタンパク質の代謝産物を排泄出来ずに体内に蓄積して尿毒症になるのを遅らせるためです。この場合のタンパク源としては、獣肉を避け、牛乳でとるのが望ましい

腎臓疾患とサナモア光線療法

透析患者の合併症の治療にも

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮

光明

ません。

ところで、多岐にわたる腎臓疾患の治療にサナモア光線療法を併用することは、理論的にも妥当性があります。次に、この点について具体的に考察します。

糸球体腎炎

糸球体腎炎（以下腎炎という）は、腎臓の糸球体がおかされるため尿をつくれないう病気で、急

とされています。

なお、尿の出が悪いと、水分制限が必要になる場合もあります。

これらの管理をした上で、医師は個々の症例に応じた薬物療法を行います。しかし、代表的腎臓疾患の糸球体腎炎を例に述べれば、未だ特効薬はなく、従って投薬は症状や合併症に対する治療に終始せざるを得ないのが実情です。換言すれば、前述の養生により病気の悪化を防ぎ、あわよくば自然治癒力によって治ることを期待しているに過ぎ

性腎炎と慢性腎炎に分けます。

急性腎炎は小児に多く、典型例は溶連菌による上気道炎（扁桃炎が多い）罹患後一〜三週してから、タンパク尿、血尿、むくみ、高血圧を主な症状として始まります。それ故、溶連菌感染を証明する血清アスロー値は90%以上の患児で上昇しますが、腎臓に感染するのではなく、アレルギーの機転が関与して発病すると考えられています。

本症の自然経過は比較的良好で、90%ぐらいは治りますが、残りの10%は慢性腎炎に移行します。

慢性腎炎とは、急性腎炎で見られるような症状が持続し、全治するのが難しい病気で、本症の約10%は急性腎炎からの移行例ですが、残り

は検診や他の疾患で受診した時の検尿で偶然発見されるのが大部分を占めます。中には、尿毒症になって始めて見付かることすらあります。

さて、腎炎の治療にサナモア光線療法を併用する利点は、患者が扁桃炎をはじめ感染症に罹ると感染アレルギーのため増悪し、反面腎の負担を軽減すると改善する事実から、大略次の如くまとめることができます。

(一) 感染症を予防
光線療法で感染症にかかりにくくなります。

(二) 免疫異常抑制効果
光線療法は副作用のない免疫抑制療法として、アレルギー体質を改善します。

(三) 腎血流量の増加に伴う利尿効果
光線療法をすると尿の出がよくなり、腎臓の負担を減らします。

発汗作用

汗は尿素や尿酸を可成沢山含んでいます。従って腎臓の作用を補う事ができます。

なお、腎炎の光線療法は、サナモアAかAD又はBDを組み合わせて使い、喉、腹部前後、膝裏に各十分程度照射します。

また、腎炎のように有効な治療法に乏しい疾患では、養生法に光線療法を併用して患者側の要因を良好に保つことにより、もし仮りにタンパク尿が続いていても、腎炎の進行を食い止める上で役にたっているのです。

ネフローゼ症候群

ネフローゼ症候群とは、尿に大量のタンパクが出る結果、血液のタンパクが減少し、これを補うためコレステロールなど脂質が上昇、全身にひどいむくみを起した場合につけられる病名です。本症の約80%は糸球体

(五面から続く)

腎炎が原因とみなされていますが、他にも種々の病気が原因となり、必ず原因疾患を調べ、適切な治療を受けるようにしなければなりません。

ネフローゼ症候群に対する光線療法は、糸球体腎炎で述べたことに準じて行いますが、治療効果は時に顕著なことがあります。日光療法の先達、正木博士も次のような体験例を記しています。

「症例は27歳の女性」

ネフローゼと結核性腹膜炎のため富士見高原療養所へ入院。本例に日光療法を行ったところ、10日程で尿タンパクは著しく減少し、およそ3週間の治療で全快したが、この効果は経過からみて、大部分は日光療法の効に帰すべきものと考えられる。

この症例は、現今使われるステロイド療法の無かった昭和初期の治療例であるだけ貴重です。

■腎盂腎炎

腎臓に細菌が感染したのが腎盂腎炎で、急性と慢性に別けます。

細菌が腎臓に感染する経路は、血管やリンパ管を経て侵入することもあります。多くは膀胱炎の菌が尿路を昇って侵入します。この際、健康なら少しぐらいの細菌は尿と一緒に流し出し

てしまいがちですが、身体の抵抗力が弱っていたり、尿路に通過障害(尿路結石など)があると感染します。

急性腎盂腎炎は、高熱、腰痛、膀胱炎症状などが見られます。この病気は化学療法によって完治しますので、慢性にしないようしなければなりません。光線療法は化学療法に併用します。

慢性腎盂腎炎の症状は、時に急性症状を呈することもあります。一般的には微熱、腰痛、全身倦怠感など全体として軽い。ため、見落とされることもあります。その上、化学療法でも根治は難しく、経過が長引くにつれて両腎とも侵される結果、腎臓の機能が低下することもあります。このため、炎症を鎮め急性増悪させないようにしなければなりません。それに少しでも悪い徴候があれば化学療法も必要ですが、日常は養生をし、光線療法を続けるなら、細菌に対する抵抗力が高まり、病気の進行を抑える効果があります。

■透析患者

原因の如何を問わず、腎病変が進行すると腎臓の機能は低下し、老廃物を排泄できなくなり、この状態を腎不全といいますが、いづれ血液中に尿素窒素やクレアチニンが増量して尿毒症を起します。

かつては腎不全から尿毒症になれば、最早対応策はありませんでした。僅かに文献上、日光療法の利尿ならびに発汗作用を利用して延命を図った記録が残っています。

ところが近年、老廃物を取り除く人工透析療法が長足の進歩を遂げ、社会復帰すら可能になりましたが、それに伴い長期透析患者の実に多彩な合併症が、新たな問題として浮かび上がってきたのです。

即ち自覚的には、疲れ易い、筋力が弱った、頭が重い、食欲がない、下痢や便秘になる、関節が痛む、風邪を引き易い、皮膚が痒いなどの症状を訴えます。また他覚的には、高血圧を始め循環器系の障害、骨軟化症および異所性石灰沈着、貧血、脂質代謝異常などがあります。

おわりに

エジプトのアッサン市の日光療養所は、腎臓疾患に効果顯著なることを以て有名だったと言います。この事実に鑑み、かつ病気故に閉じ籠り勝ちになる点からも、光線療法を併用することは大いに価値があります。

サナモア



Sunamoa

サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限らない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くしてはならない紫外線や赤外線を目的に応じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙、普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。

入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 七九三—五二八一
七二—五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)